

## 2月の県内経済は、総じて持ち直しに足踏み感がみられる。

### 1. 平成23年2月の県内経済

消費動向をみると、大型小売店販売額（全店舗ベース）は、飲食料品が前年を上回り、衣料品の販売が振るわなかったものの、合計では2ヵ月ぶりに前年を上回った。乗用車新車販売は、補助金終了により各部門とも大幅に落ち込み、6ヵ月連続で前年を下回った。生産活動は、県内主要企業へのヒアリングによれば、前月に続いて総じて回復傾向にあることが窺われ、また大口電力使用量も15ヵ月連続で前年を上回った。投資動向をみると、公共工事前払保証取扱は、件数が10ヵ月連続で、請負金額が6ヵ月連続で前年を下回った。建築着工（民間・非居住用）は、棟数が2ヵ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数は、持家、貸家が前年を下回り、合計では3ヵ月連続で前年を下回った。負債金額100万円以上の倒産件数は、2ヵ月ぶりに前年を下回り、負債総額は8ヵ月ぶりに前年を下回った。雇用情勢は、依然として厳しい状況にあるものの、有効求人倍率、新規求人倍率とも改善の動きがみられる。

#### 〔消費動向・弱含み〕

大型小売店販売額（全店舗ベース）は、主力の飲食料品や家具・家電等が前年を上回り、衣料品が振るわなかったものの、合計では166億13百万円（前年同月比+0.2%）と3ヵ月ぶりに前年を上回った。乗用車新車販売は、エコカー補助金終了により普通車、小型車、軽乗用車とも大幅に落ち込み、合計では6ヵ月連続で前年を下回った。消費者物価指数は、前月比0.3%下降し、2ヵ月ぶりに前月を下回った。また前年同月比では0.6%下降し、25ヵ月連続で前年を下回った。個別企業の販売動向をみると、家電量販店は、エコポイント制度の変更（ポイント半減等）から、薄型テレビ、冷蔵庫の販売が減少したものの、パソコン、携帯電話、BDレコーダーなどが堅調に推移し、合計では前年を上回った。ホームセンターは、節約志向が続く中で、家庭用品、日用品等が堅調に推移し、また厳しい寒さから暖房用品や灯油など冬用商品の販売も伸び、合計では前年を上回った。旅行取扱額は、国内団体・海外個人が好調に推移し、合計では前年を上回った。

#### 〔投資動向・減少〕

2月の公共工事前払保証取扱は、件数が10ヵ月連続で、請負金額、保証金額は6ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。1月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が2ヵ月連続で前年を下回った。一方、床面積、工事費予定額は2ヵ月ぶりに前年を上回った。2月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家が低迷し、合計では3ヵ月連続で前年を下回った。

#### 〔生産活動・――〕

1月の鉱工業指数は公表されていないが、主だった企業へのヒアリング結果を総合すると、県内における生産活動は前月に引き続き、概ね回復傾向にあることが窺える。また、2月の大口電力販売量は、前年同月比+8.2%と15ヵ月連続で前年を上回った。

〔企業倒産・足元改善〕

負債金額10百万円以上の企業倒産状況は、倒産件数が2ヵ月ぶりに前年を下回り、負債総額は、8ヵ月ぶりに前年を下回った。

〔雇用動向・改善の動き〕

有効求人倍率（季節調整値）は、0.50倍と前月と同じであった。原数値では0.52倍と11ヵ月連続で前年を上回った。新規求人倍率（季節調整値）は、0.76倍となり、3ヵ月ぶりに前月を下回った。原数値では0.77倍となり、13ヵ月連続で前年を上回った。

県内経済動向の概要

	項 目	前 年 同 月 比					
		22年9月	10 月	11 月	12 月	23年1月	2 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	0.6	1.0	0.0	▲ 1.3	▲ 0.8	0.2
	乗用車新車登録台数	▲ 1.3	▲ 27.6	▲ 30.6	▲ 24.6	▲ 22.3	▲ 14.2
	消費者物価指数（総合）	▲ 1.6	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 0.6
投資動向	公共工事前払保証取扱保証請負金額	▲ 30.6	▲ 25.7	▲ 3.9	▲ 6.0	▲ 42.9	▲ 33.9
	建設着工棟数（民間・非居住用）	34.6	▲ 1.4	53.2	▲ 10.5	▲ 2.7	—
	新設住宅着工戸数	4.9	▲ 2.6	15.7	▲ 6.9	▲ 7.0	▲ 29.4
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	13.9	5.3	6.0	3.6	—	—
	大口電力販売量	6.3	4.0	3.9	4.0	6.4	8.2
企業倒産	企業倒産件数注2	▲ 46.2	80.0	▲ 37.5	▲ 50.0	20.0	▲ 66.7
	企業倒産金額注2	43.1	615.2	394.1	191.6	385.7	▲ 74.0
金融動向	預 金	2.4	2.1	2.3	2.4	2.5	—
	貸 出 金	▲ 0.5	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 0.2	▲ 0.6	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注1	0.13	0.15	0.16	0.16	0.15	0.15
	新規求人倍率（パート含む）注1	0.10	0.18	0.07	0.12	0.16	0.08

注1 原指数 注2 負債総額10百万円以上

	項 目	前 月 比					
		22年9月	10 月	11 月	12 月	23年1月	2 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	▲ 10.1	4.9	▲ 0.4	27.0	▲ 13.9	▲ 15.7
	乗用車新車登録台数	5.8	▲ 36.1	4.7	▲ 18.9	22.7	22.1
	消費者物価指数（総合）	0.5	0.6	▲ 0.5	▲ 0.6	0.3	▲ 0.3
投資動向	公共工事前払保証取扱保証請負金額	20.8	▲ 23.1	▲ 5.4	▲ 14.8	▲ 58.0	0.8
	建設着工棟数（民間・非居住用）	13.2	▲ 17.0	19.7	▲ 30.0	▲ 10.1	—
	新設住宅着工戸数	16.5	4.5	19.1	▲ 17.6	▲ 15.3	▲ 18.9
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	▲ 5.4	▲ 2.6	1.0	4.0	—	—
	大口電力販売量	▲ 0.8	▲ 0.1	▲ 2.3	0.1	0.9	▲ 4.7
企業倒産	企業倒産件数注2	▲ 30.0	28.6	▲ 44.4	40.0	71.4	▲ 75.0
	企業倒産金額注2	178.2	20.4	61.6	▲ 35.6	82.5	▲ 78.4
金融動向	預 金	▲ 0.4	0.2	0.3	1.3	▲ 0.8	—
	貸 出 金	0.1	0.3	▲ 0.8	0.6	▲ 0.3	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注1	0.01	0.00	0.01	0.01	0.03	0.00
	新規求人倍率（パート含む）注1	0.06	0.04	▲ 0.04	0.03	0.11	▲ 0.13

注1 季節調整値 注2 負債総額10百万円以上

## 2. 県内経済動向

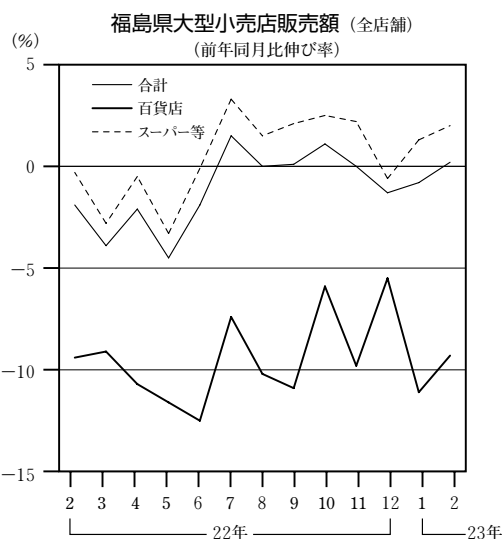
### 消費動向

**大型小売店** 2月の県内大型小売店の販売額は、雇用・所得環境が依然厳しい中、飲食料品、家具・家電・家庭用品等が前年を上回り、衣料品が振るわなかったものの、全店舗ベースで166億13百万円（前年同月比+0.2%）と3ヵ月ぶりに前年を上回った。既存店ベースでは同2.3%増と2ヵ月連続で前年を上回った。（注：既存店とは調査月において当月と前年同月でともに存在した事業所の数値。）

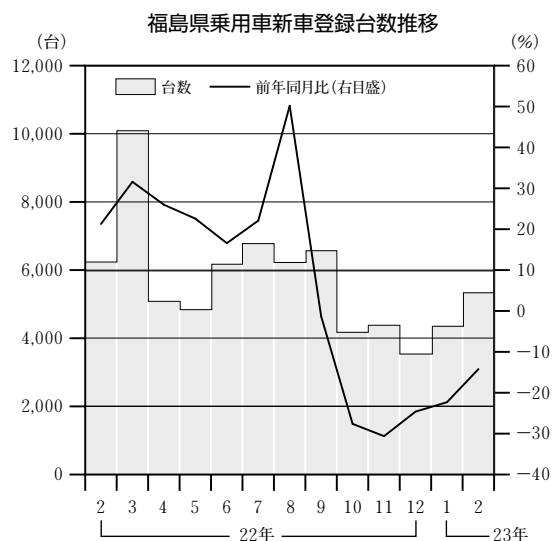
業態別に内訳をみると百貨店は、衣料品が主力の婦人服など軒並み低調に推移したほか、身の回り品も振るわず、全店舗ベースで23億86百万円（同△9.3%）と、42ヵ月連続で前年を下回った。また、既存店ベースでは前年同月比8.0%増となり、2ヵ月ぶりに前年を上回った。

スーパーは、主力の飲食料品の売上が前年を上回ったほか、衣料品、家具・家電・家庭用品なども伸び、全店舗ベースでは142億28百万円（同+2.0%）と2ヵ月連続で前年を上回った。また既存店ベースでは同1.3%増と、2ヵ月連続で前年を上回った。

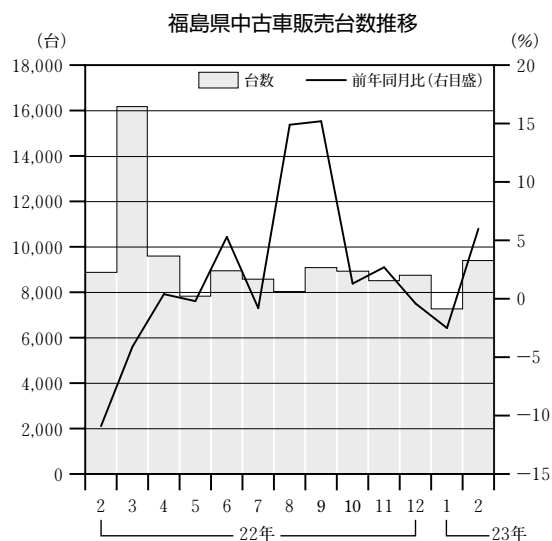
**乗用車販売** 2月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,401台（前年同月比△14.2%）と、エコカー補助金終了により各部門とも大幅に減少し、6ヵ月連続の前年割れとなった。車種別で見ると、普通車は1,432台（同△23.8%）と5ヵ月連続で前年を下回った。小型車は1,842台（同△16.6%）と6ヵ月連続で前年を下回った。軽乗用車は2,127台（同△3.5%）と5ヵ月連続で前年を下回った。



（資料：経済産業省）



（資料：㈱日本自動車販売協会連合会福島県支部）



（注）軽自動車は名義変更台数含む  
資料：㈱日本自動車販売協会連合会 福島支部  
㈱全国軽自動車販売協会連合会

2月の乗用車中古車販売台数（軽自動車は名義変更を含む）は、合計で9,503台（前年同月比+6.0%）と3ヵ月ぶりに前年を上回った。車種別にみると普通車は2,651台（同+7.2%）と2ヵ月ぶりに前年を上回った。小型車は3,532台（同+3.2%）と3ヵ月ぶりに前年を上回った。軽乗用車は3,320台（同+8.2%）と3ヵ月連続で前年を上回った。

**消費者物価指数** 2月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成17年=100）でみると、99.2（前月比△0.3%）となり、2ヵ月ぶりに前月を下回った。前年同月比では0.6%下がり、25ヵ月連続で下降した。

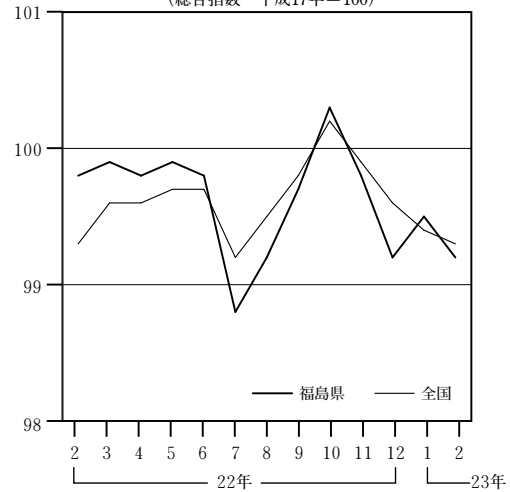
費目別の指数動向をみると、「諸雑費」が108.8（前月比+0.5%）、「光熱・水道」が107.6（同+0.3%）と2費目で前月比上昇した。一方、「被服及び履物」が90.4（同△5.1%）、「家具・家事用品」が89.2（同△1.0%）、「教養娯楽」が93.3（同△0.4%）、「食料」が104.6（同△0.2%）、「保健医療」が95.7（同△0.1%）と5費目で前月比下降した。また、「交通通信」は98.7、「住居」は96.9、「教育」は82.9となり、前月と同じであった。

**家電量販店** 2月の売上状況は、エコポイント制度の変更（ポイント半減等）の影響から、薄型テレビ、冷蔵庫は減少したものの、パソコン、携帯電話、BDレコーダー、エアコンなどが堅調に推移し、合計では前年を上回った。

**ホームセンター** 2月の売上は、節約志向が続く中、家庭用品、日用品、園芸・植物等が堅調に推移し、また、厳しい寒さから暖房用品や灯油、作業用品など冬用商品の販売も伸び、エクステリア、ペット関連などが低調だったものの、合計では前年を上回り推移した。

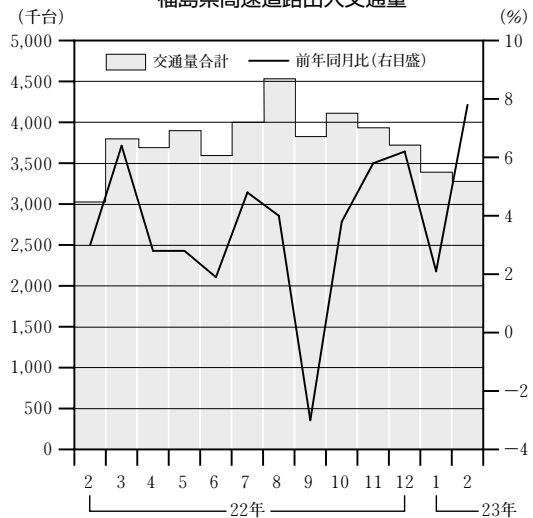
**旅行** 2月の旅行取扱額実績は、国内個人が振る

福島県消費者物価指数  
(総合指数 平成17年=100)



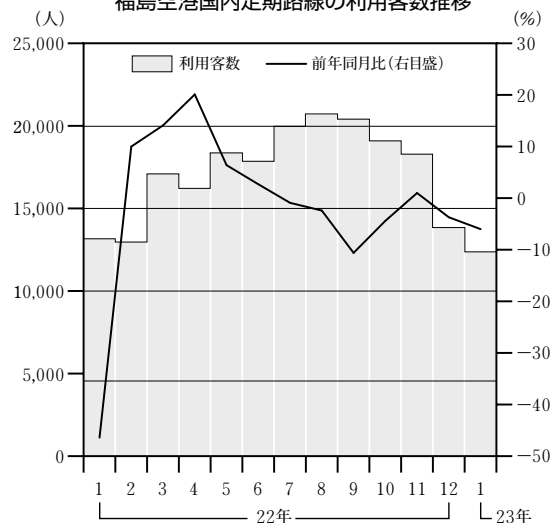
(資料：総務省統計局)

福島県高速道路出入交通量



(資料：東日本高速道路(株)東北支社)

福島空港国内定期路線の利用客数推移



(資料：福島県商工労働部空港交流課)

わなかったものの、国内団体・海外個人が好調に推移し、合計では前年を上回った。

**高速道路** 2月の県内自動車道出入口台数は「ETC割引制度」の効果などから、3,301,388台（前年同月比+7.8%）と5ヵ月連続で前年を上回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）は1,911,787（同+6.7%）と15ヵ月連続で前年を上回った。磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は228,771台（同+9.7%）と12ヵ月連続で前年を上回った。磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は493,572台（同+10.2%）と4ヵ月連続で前年を上回った。常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）は667,258台（同+8.8%）と5ヵ月連続で前年を上回った。

**福島空港** 2月の利用状況については、未公表（4月20日現在）。

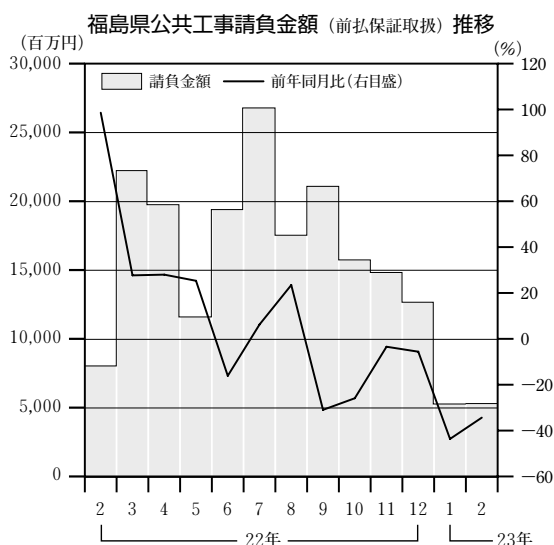
※1月までの実績（図表）を参考掲載。

## —— 投資動向 ——

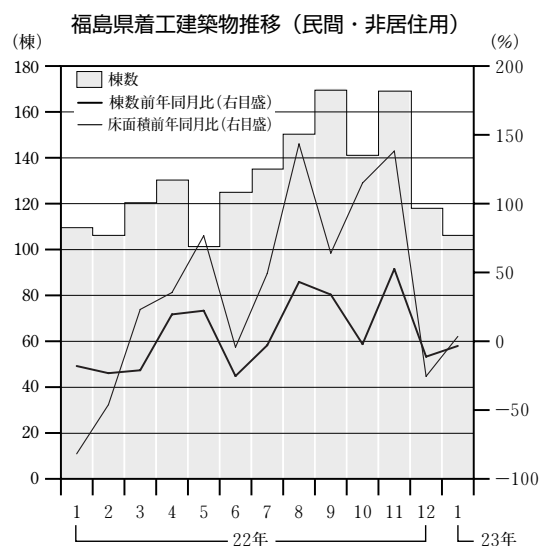
**公共工事** 2月の公共工事前払保証取扱は、件数が252件（前年同月比△11.6%）と10ヵ月連続で前年を下回った。請負金額は53億69百万円（同△33.9%）、保証金額は22億76百万円（同△39.6%）となり、それぞれ6ヵ月連続で前年を下回った。

なお、年度累計（平成22年4月～平成23年2月）では、件数が前年同期比850件減少し、5,764件（前年同期比△12.9%）、請負金額が同157億49百万円減少し、1,703億66百万円（同△8.5%）、保証金額が82億84百万円減少し、637億47百万円（同△11.5%）となっている。

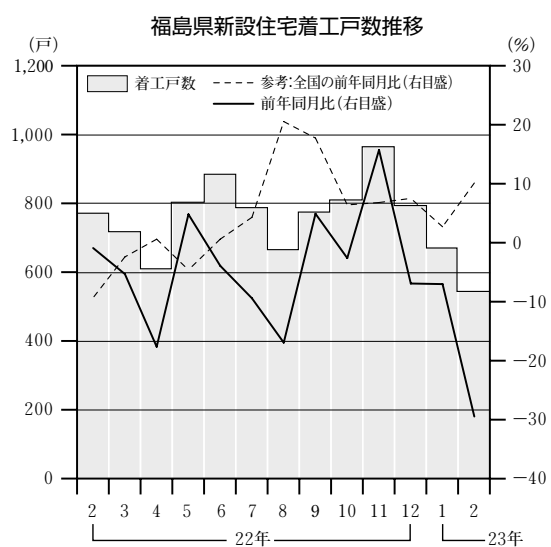
2月の主な発注者別の請負金額は、国が前年比4億55百万円増加し、17億40百万円（同+35.3%）



（資料：東日本建設業保証㈱）



（資料：国土交通省）



（資料：国土交通省）

となった。独立行政法人等（東日本高速道路株など）は同1億16百万円減少し、△1百万円（同△101.4%）となった。県は同8億58百万円減少し、11億6百万円（同△43.7%）となった。市町村は同19億98百万円減少し、24億90百万円（同△44.5%）となった。

**設備投資** 1月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が107棟（前年同月比△2.7%）と2ヵ月連続で前年を下回った。床面積は25,740m<sup>2</sup>（同+4.2%）、工事費予定額は35億7百万円（同+16.0%）となり、それぞれ2ヵ月ぶりに前年を上回った。

なお、2月の建築物確認件数および建築物申請件数については、未公表（4月20日現在）。

**住宅建設** 2月の県内新設住宅着工戸数は、548戸（前年同月比△29.4%）と3ヵ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」は326戸（同△7.4%）と4ヵ月ぶりに前年を下回った。「貸家」は168戸（同△41.7%）と3ヵ月連続で前年を下回った。「分譲」は54戸（同+12.5%）と2ヵ月連続で前年を上回った。うちマンションの着工戸数は、3ヵ月連続でゼロとなった。

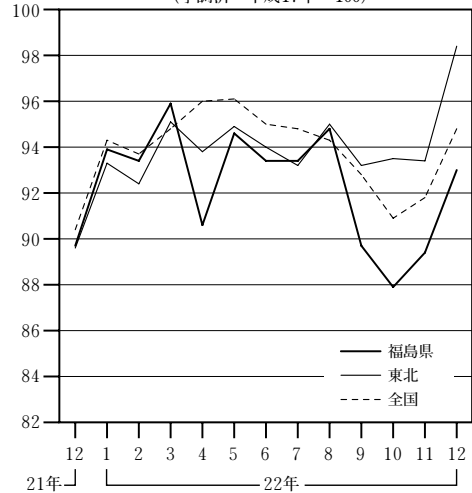
## 生産活動

**鉱工業生産指数** 1月の鉱工業生産指数については、未公表。

※12月までの実績（図表）について参考掲載。

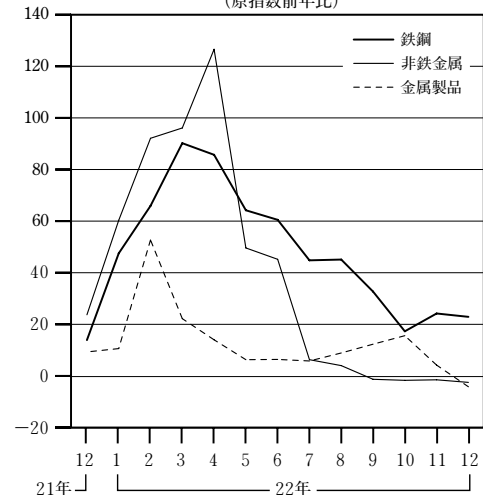
**化学** 2月の食品包装フィルム用合成樹脂やフッ素樹脂、金属代替プラスチック、炭素繊維の生産は好調を持続、医薬品も堅調な動きが続いている。また、酸化チタン（白色顔料、自動車用塗料向け）やバリウム化合物（電子部品原料）の生産は、好調に推移した。

福島県鉱工業生産指数（全国、東北との比較）  
（季調済 平成17年=100）



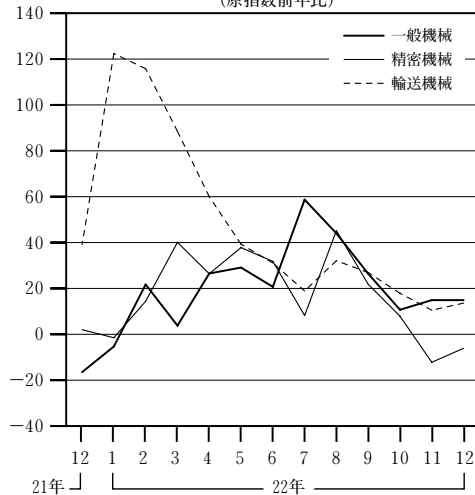
（資料：福島県企画調整部統計調査課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移  
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計調査課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移  
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計調査課）

**鉄鋼・金属** 2月の伸銅品の生産は、半導体向け電子材、自動車向け端子材とも前年を下回り推移した。建機用鋳造品の生産は、新興国向けが牽引し、前年を大きく上回り推移した。車両用鋳造品は、JR在来線の更新需要等に支えられ、堅調に推移した。陸船用バルブの生産は、前年を下回ったが船舶部品は、前年並みで推移した。

**輸送用機械** 2月の自動車用鋳造品の生産は、アジア向けが堅調、前年を上回り推移した。自動車用オイルシールの生産は、国内乗用車販売が低迷する中、ほぼ前年並みの水準で推移した。カーナビ・カーオーディオの生産は、国内向けが落ち込んだものの、海外向けがカバーし、合計では前年をやや上回り推移した。

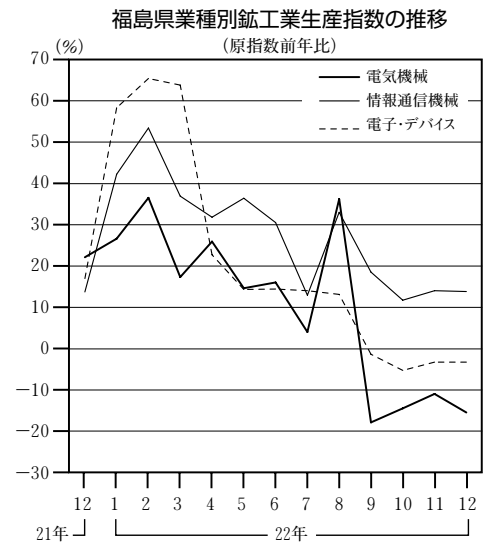
**電気機械** 2月の配電盤、変圧器の生産は堅調に推移し、自動車モーターの生産もほぼ前年並みとなり、合計では前年を上回り推移した。

**情報通信機械** 2月の携帯電話中継局用マイクロ波通信機器の生産は、主力のインド向けが伸びず、前年並みで推移した。衛星通信機器関連、FA関連機器の生産は、前年並みの水準で推移した。

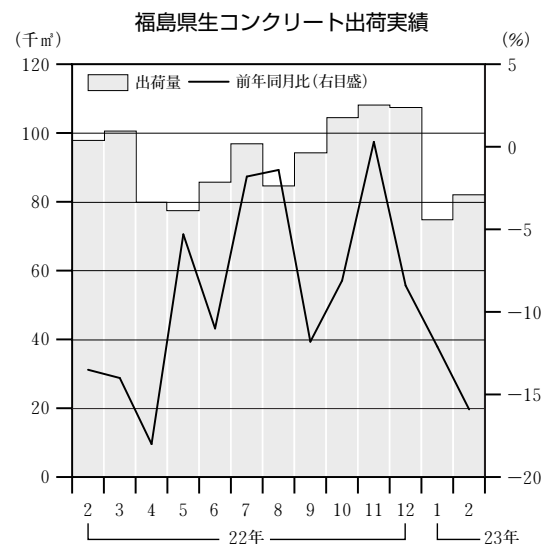
**電子部品・デバイス** 2月のLSI（大規模集積回路）の生産は、産業機械が好調に推移、車載品も前年を上回ったものの、主力のAV・ゲーム機・家電ならびにパソコン・OA向け製品等が振るわず、全体では前年を下回った。

**精密機械** 2月の医療用内視鏡の生産は、北米向けを中心に好調に推移し、前年を上回った。デジタル一眼レフカメラ用レンズの生産は、欧米向けが持ち直し、前年を上回り推移した。

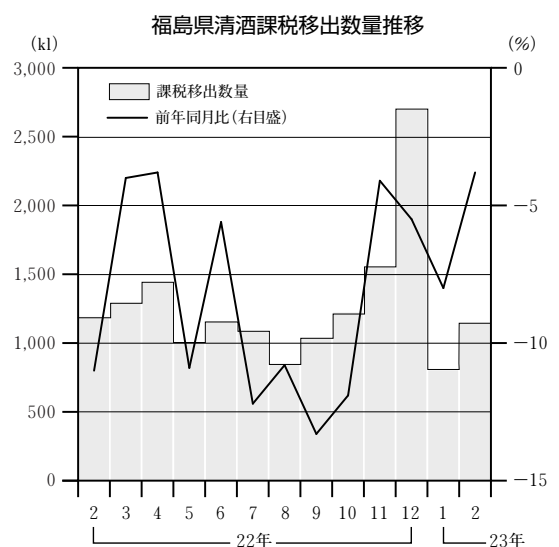
**紙・紙加工品** 2月のダンボールの生産は、IT向け製品が前年並みで推移した。ノーカーボン紙および感熱紙の生産は、堅調に推移した。



(資料：福島県企画調整部統計調査課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)

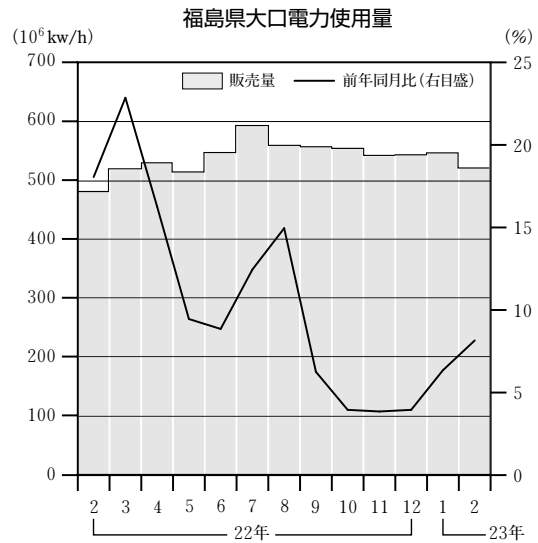
**窯業・土石** 2月の生コンクリート出荷量は、全体で82,672m<sup>3</sup>（前年同月比△15.9%）と3ヵ月連続で前年を下回った。増加地区についてみると、官公需では、県中地区で国道改築工事、公立学校耐震工事等により、民需では、県中地区で輸送機械系工場の新築工事、マンション等居住用建物の新築工事等、いわき地区で火発増設工事、観光施設増設工事等により増加した。

**清酒** 2月の清酒移出数量は、1,160kl（前年同月比△3.8%）と29ヵ月連続で前年を下回った。タイプ別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が388kl（同+2.5%）と2ヵ月ぶりに前年を上回った。一般酒（特定名称酒以外の酒）は、771kl（同△6.6%）と29ヵ月連続で前年を下回った。

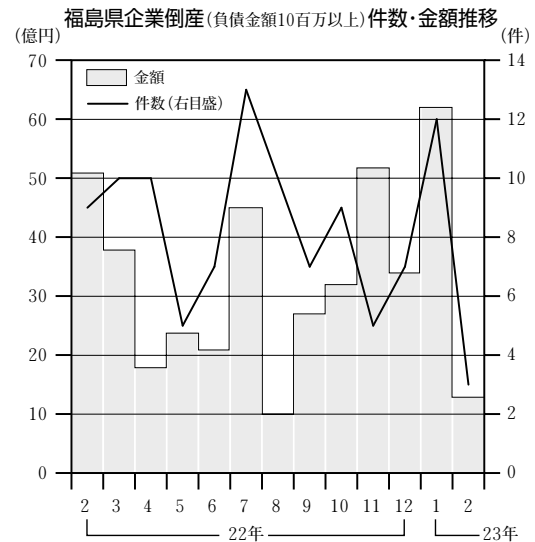
**化合繊維物** 2月のナイロンの生産はダウンジャケット（表地）向けを中心に、好調に推移した。ポリエステルは、紳士服、婦人服の裏地向けなど前年並みの水準で推移した。

**ニット** 2月のニットの生産は、春物生産が中心であるが、国内需要の伸び悩みから前年並みの水準で推移した。

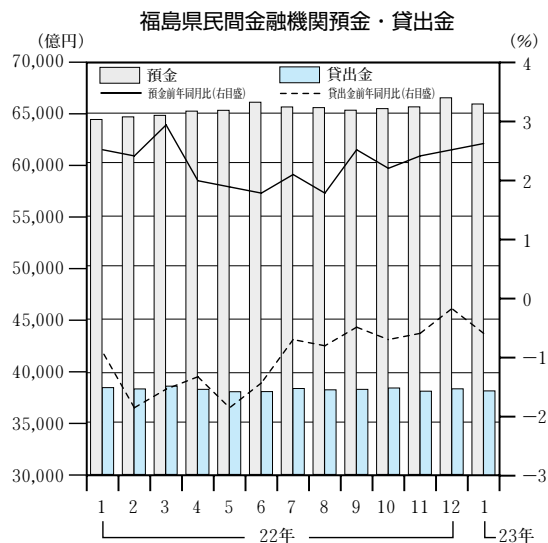
**大口電力** 2月の大口電力販売量は、523百万kw/h（前年同月比+8.2%）と15ヵ月連続で前年を上回った。大口主要販売先を業種別にみると、「非鉄金属」で128百万kw/h（同+23.6%）、「電気機械」で90百万kw/h（前年同月比△4.3%）、「輸送用機械」で58百万kw/h（同+9.5%）、「化学」で53百万kw/h（同+14.2%）、「一般機械」で25百万kw/h（同+3.8%）、「紙・パルプ」で14百万kw/h（同+10.5%）となっており、非鉄金属で好調が続いている。



(資料：東北電力福島支店)



(資料：帝国データバンク福島支店)



(資料：日本銀行福島支店)



## —— 企業倒産 ——

**企業倒産** 2月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、倒産件数が3件（前年同月比△66.7%）となり、2ヵ月ぶりに前年を下回った。負債総額は、13億30百万円（同△74.0%）となり、8ヵ月ぶりに前年を下回った。

倒産主因別内訳は、3件全てが受注・販売不振であった。業種別内訳は、建設業が1件、サービス業が1件、運輸・通信業が1件となった。また、地区別内訳は、県北（本宮市以北）が0件、県南（郡山市以南）が1件、会津が1件、浜通りが1件となった。

## —— 金融動向 ——

**資金需要** 県内金融機関（全国銀行、第二地銀、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の2月末の預金ならびに貸出金残高については未公表（4月20日現在）。

※1月までの実績（図表）を参考掲載。

**保証協会** 2月の保証承諾は、件数が1,016件（前年同月比△8.4%）、保証金額が116億22百万円（同+7.8%）となった。2月末日現在の保証債務残高は、件数が42,310件（同△3.3%）、金額が3,434億28百万円（同△3.4%）となった。また、2月中の代位弁済は、件数が71件（同△18.4%）、金額が7億12百万円（同+63.8%）となり、金額が10ヵ月ぶりに前年を上回った。

## —— 雇用動向 ——

**雇用動向** 2月の新規求人数（原数値）は、9,357

人（前年同月比+21.2%）と12ヵ月連続で前年を上回った。新規求職申込件数（原数値）は、12,120件（同+8.5%）と3ヵ月ぶりに前年を上回った。

新規求人倍率（季節調整済、パート含）は、0.76倍（前月比△0.13<sub>ポイント</sub>）と3ヵ月ぶりに前月を下回った。原数値は0.77倍（前年同月比+0.08<sub>ポイント</sub>）と13ヵ月連続で前年を上回った。有効求人倍率（季節調整済、パート含）は、0.50倍（前月比±0.00<sub>ポイント</sub>）と前年と同じであった。原数値は0.52倍（前年同月比+0.15<sub>ポイント</sub>）と11ヵ月連続で前年を上回った。

